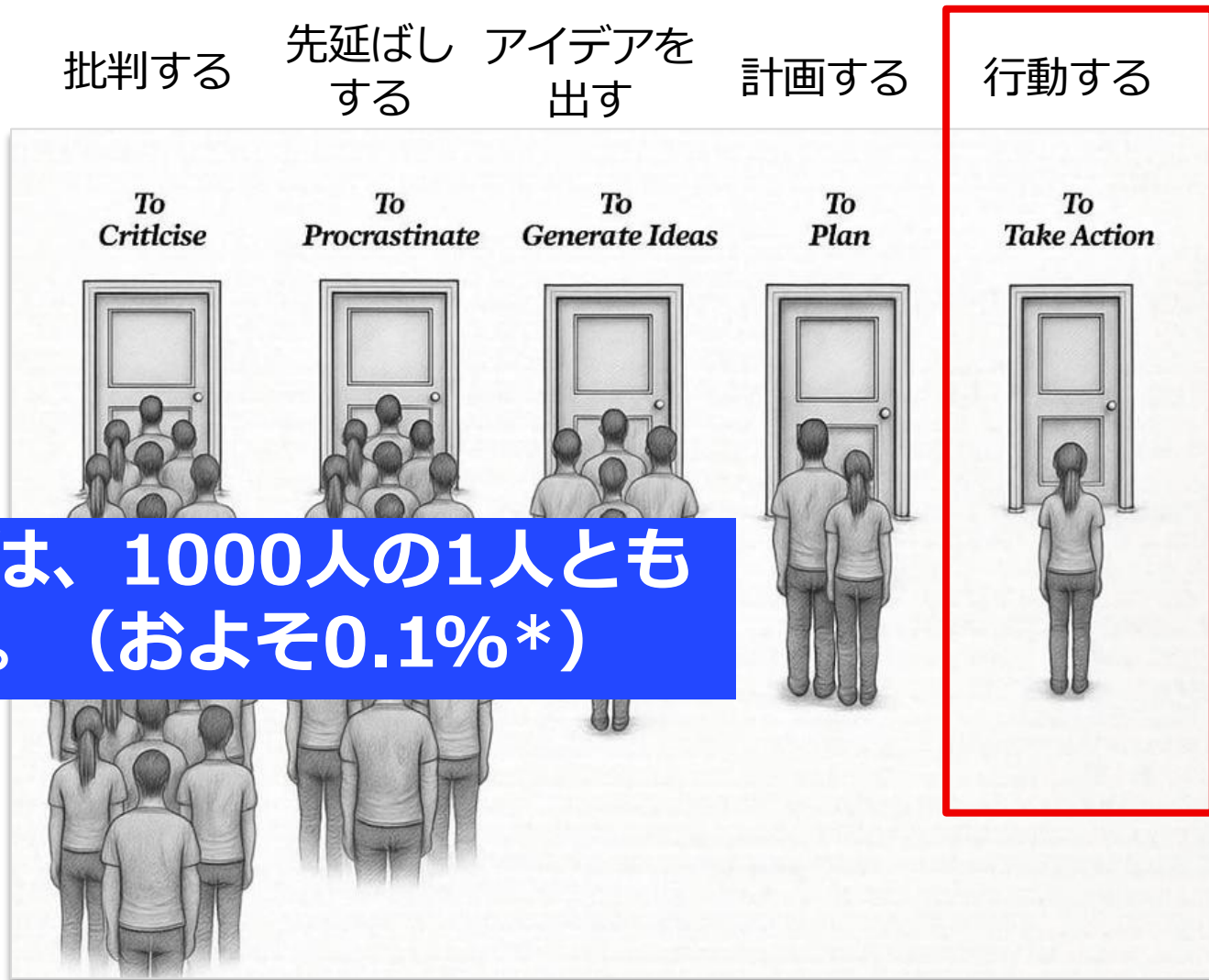

では、これからどのように生成AIと向き合うべきか？
主に3つのことを実践。

1. 自ら行動
2. 問題発見力：目の前のことに疑問を持つ
3. 三人寄れば、文殊の知恵

そして、
共有し合い、与える人を目指していきましょう。

1. 自ら行動：継続し、行動する人は0.1%



あなたを際立たせるのは実行力だ。

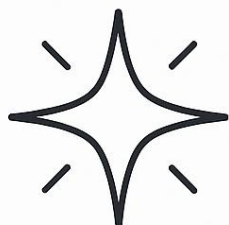
*0.1%の根拠は諸説あり、参考目安となります。

1. 自ら行動：リトルウッドの法則/奇跡は、35日に1回やってくる。

35日に1回、奇跡が起こるとするなら、奇跡は行動比例することになる。
もう一回だけやる勇気を。

リトルウッドの法則

奇跡の定義



100万回に1回の事象



人は1日8時間活動し
1秒ごとに1回の出来事を
知覚



奇跡して



平均して
35日に1回
奇跡

奇跡 = 35日に1回

奇跡の数 = 行動量に比例

更にもう一回だけ
やってみましょう

* Copilotにて「図解作成」

奇跡は行動の回数に比例する - リトルウッドの法則が教える成功の確率

1. 自ら行動：ただ行動するより今あるものを疑ってみましょう

自ら行動する中で意識することは、以下の5つです。

1. 目標設定

明確な目標を持つことで、行動の方向性が定まり、考える力が養われます。

2. 情報収集

信頼できる情報源から情報を集め、分析することで、より深く考えることができます。

3. 批判的思考

物事を多角的に捉え、疑問を持つことで、より深い理解が得られます。

4. 自己反省

自分の行動や考えを振り返り、改善点を見つけることで、成長につながります。

5. 継続的な学習

常に新しい知識を求め、学び続けることで、考える力が向上します。

2. 問題発見力：目の前のことに疑問を持つ

習慣に囚われず、業務そのもの、また業務のやり方を疑い、ゼロベースで考える。

【問題発見力】

1. 現状を深く観察する力

- 表面的な現象だけでなく、その背後にある構造や原因を探る力。

2. 問いを立てる力

- 「なぜこうなっているのか？」 「本当にこのやり方でいいのか？」 といった問いを自ら立てる姿勢。

3. 視点の切り替え

- ユーザー視点、経営視点、現場視点など、複数の視点から物事を捉える柔軟性。

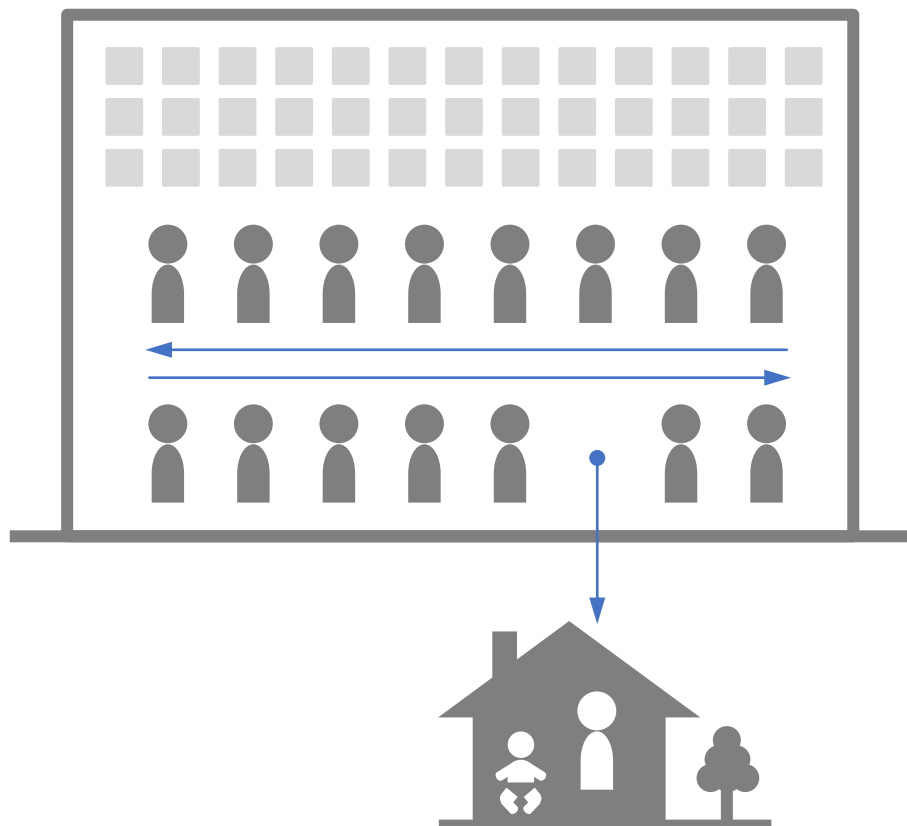
4. 仮説構築力

- 「もしかすると、〇〇が原因では？」 という仮説を立てて検証する力。

2. 問題発見力：既存業務を疑う

習慣に囚われず、業務そのもの、また業務のやり方を疑い、ゼロベースで考える。

Diligent Conformity Rules Format Procedure
まじめ 同質性 規律 様式書式 工程



ワークライフバランス

障害者雇用

介護離職

外国人労働者

労働人口減少

ビジネスのグローバル化

ジェネレーション

多様性の活用

雇用形態の多様化

出生率の変化

地方人材活性化

女性活用

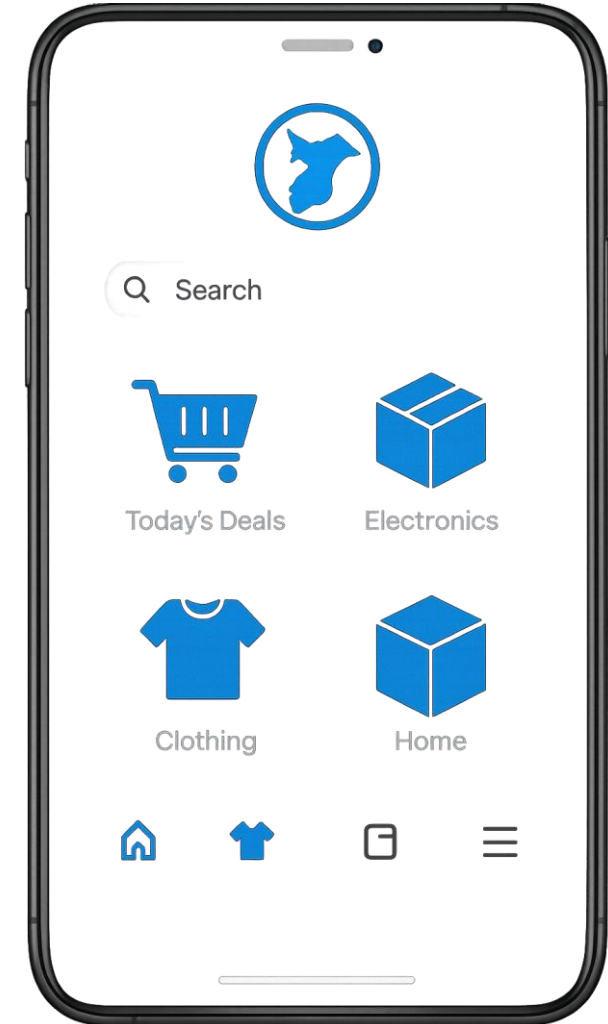
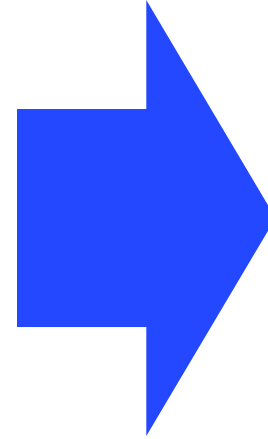
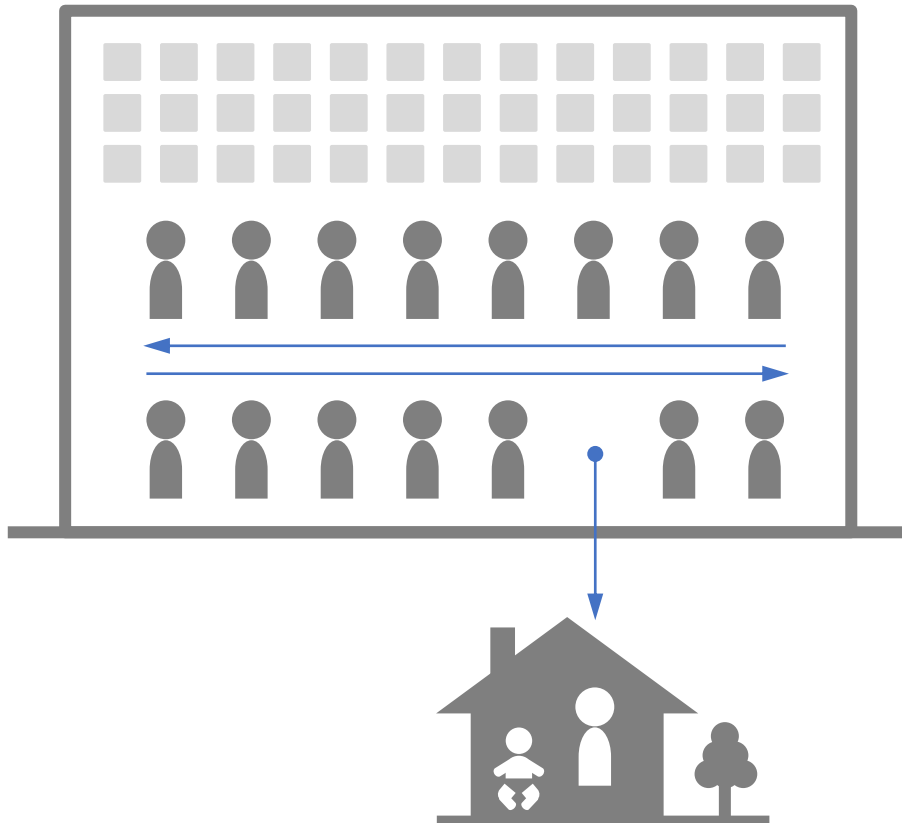
新たな企業価値の創出

多様な宗教への対応

2. 問題発見力：既存業務を疑う 例：スマホで業務

習慣に囚われず、業務そのものの、また業務のやり方を疑い、ゼロベースで考える。

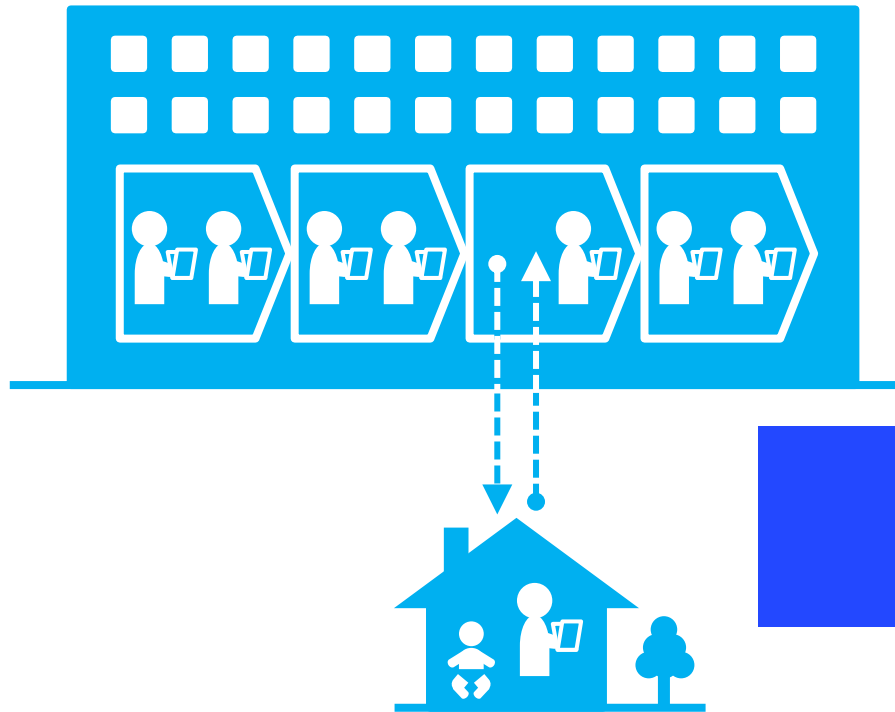
Diligent Conformity Rules Format Procedure
まじめ 同質性 規律 様式書式 工程



3. 三人寄れば文殊の知恵：隣に相談 ~マイクロソフト実践より~

一般的な働き方

業務のプロセスに合わせ、順序良く進めていく。



これまでと同じ...

縦割り組織

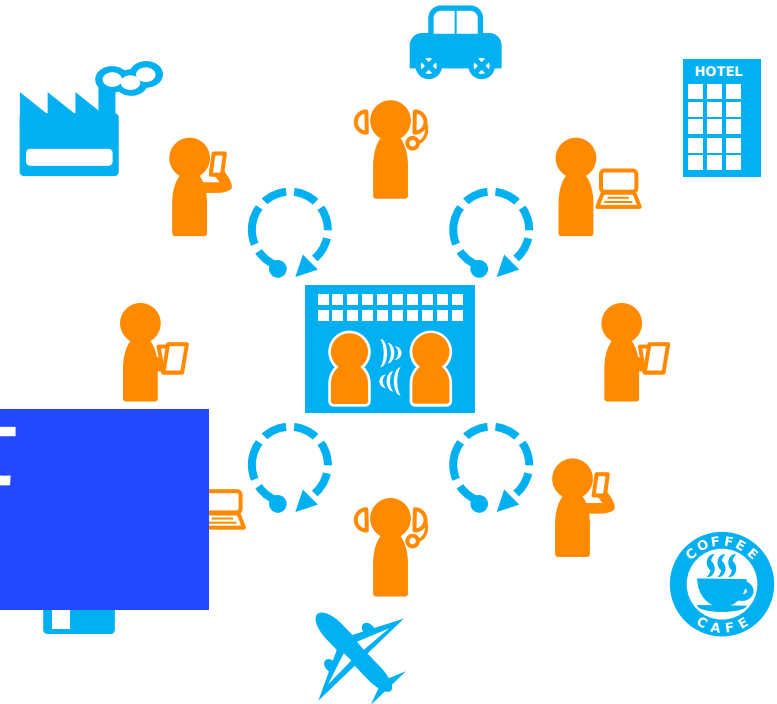
段取り, 手続き

会議, 根回し

MS社での“フレキシブルワーク”

「全員」が「毎日」
必要な時に, 必要な人と, 必要な対話/情報を交わす。

すぐ決めて
すぐ実行



業務効率が良く, 働きやすい日々

いつでも

どこでも

誰とでも

3. 三人寄れば文殊の知恵：隣に相談 ～マイクロソフト実践より～

一般的な働き方

業務のプロセスに合わせ、順序良く進めていく。

3人寄れば文殊の知恵

これまでと同じ...

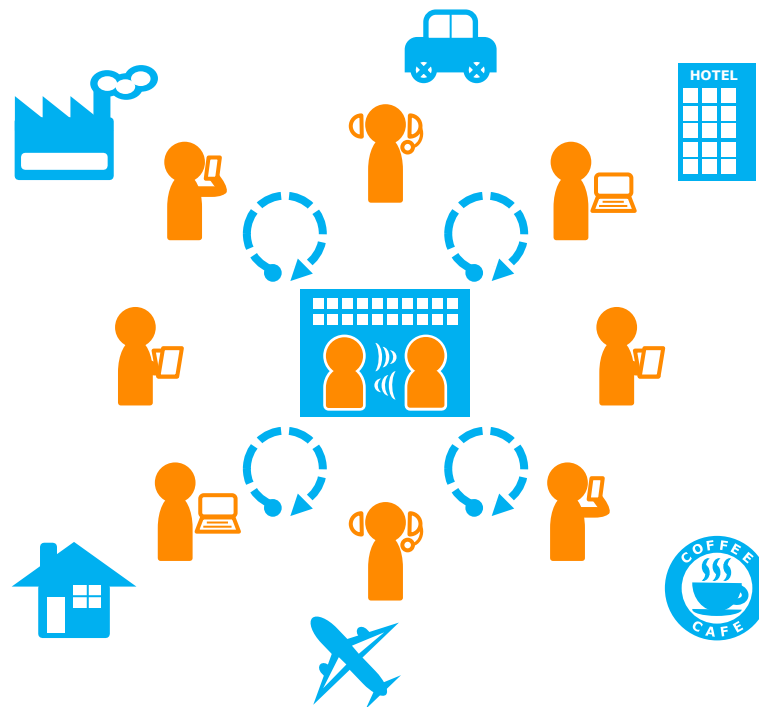
縦割り組織

段取り, 手続き

会議, 根回し

MS社での“フレキシブルワーク”

「全員」が「毎日」
必要な時に, 必要な人と, 必要な対話/情報を交わす。



業務効率が良く, 働きやすい日々

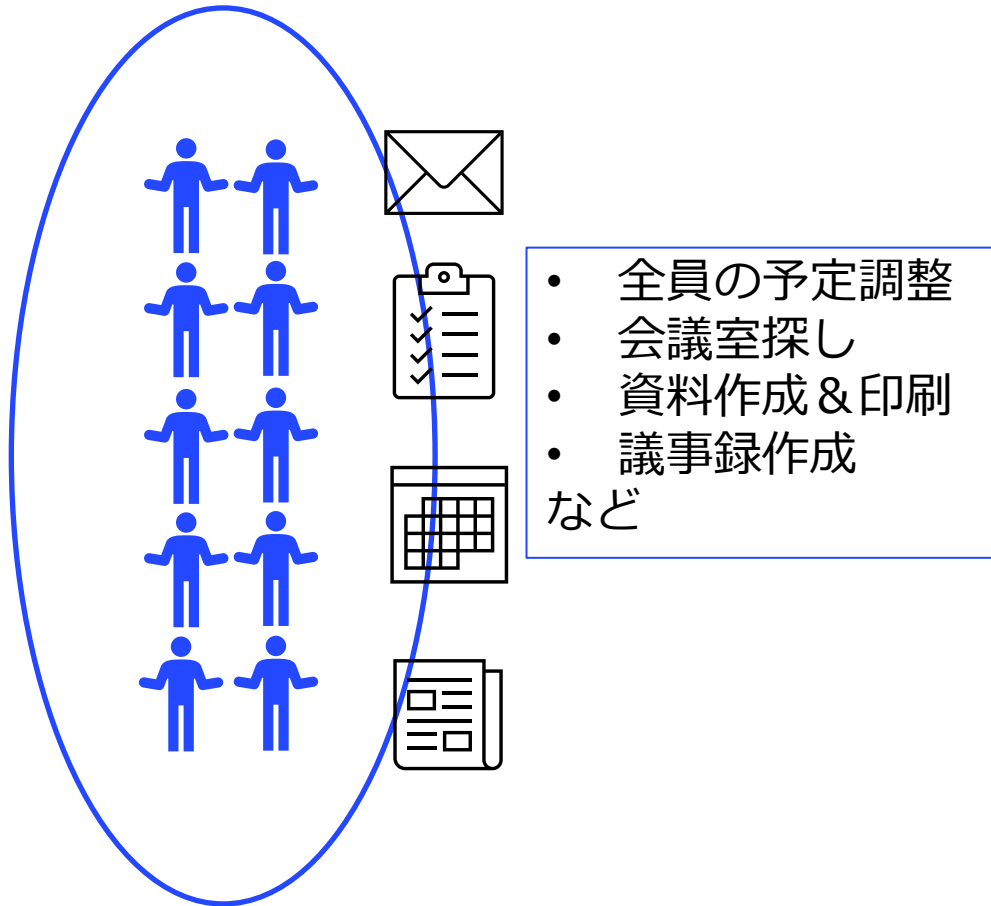
いつでも

どこでも

誰とでも

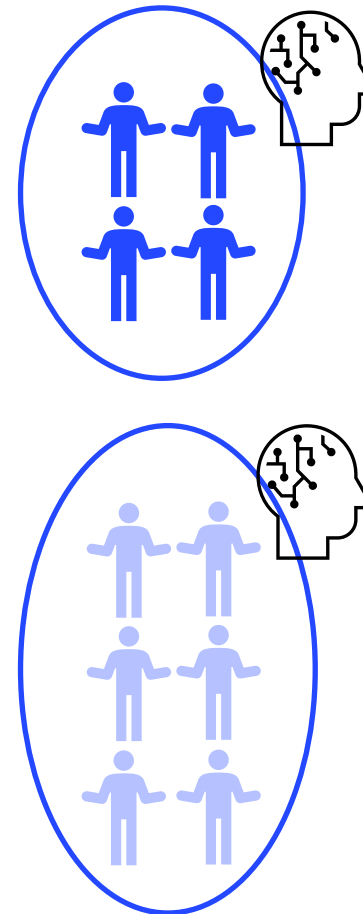
これまで

同じ時間帯、長時間、同じ場所で



これから

別の時間帯、短時間、別の場所で



当日、会議参加

- 必要メンバーのみ予定調整
 - 会議室探し不要（リモート）
 - 資料データ共有
 - 議事録自動作成（生成AI）
- など

当日、会議任意参加

- 生成AIによる議事録の確認
- 自分の関心事のみ生成AIに聞いて確認。
- 会議に時間を奪われない

いつでも、どこでも、
知りたいところだけ

組織について：全社一丸！ ではなく、小規模チームから成功体験を

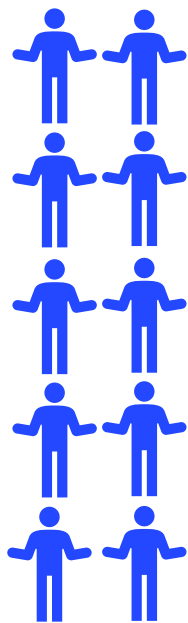
人財は今そこにいる社員、職員です。小規模チームで実証、成功体験の横展開し、より素晴らしい組織に。

良い人材？
来ません

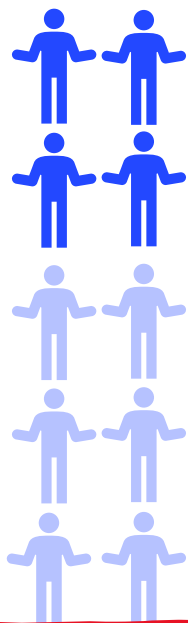
良い人材？
育ちません

ともに磨き合い、
ともに成長しましょう

モデル部門（1～2部門）



小規模チーム：AIにて業務スリム化&フレキブルワークの実践



業務専用社員/職員

- 既存業務の従事
- フレキブルワークの実践
- AIエバンジェリストとの連携（部門間連携）
*AIエバンジェリスト：各部門のAI活用を共有し合い、部門間共有、活用を促進する役目

新規事業向け社員/職員

- フレキブルワークの実践
- 各部門から集結、AIエバンジェリストとも連携
- 新たに10名程度のチーム組成（Tiny Team）
- チーム毎に業務改善、新規政策の立案&実行

すべての職員が等しく利用可能なAI基盤
安心安全なセキュリティ基盤（ゼロトラスト）